

会議録

会議の名称	令和元年度第2回 西東京市緑化審議会
開催日時	令和元年7月18日 13時30分から15時15分まで
開催場所	下保谷四丁目特別緑地保全地区 母屋
出席者	委員:伊藤委員(会長)、飯田委員、村田委員、椎名委員、中尾委員、亀田委員、佐藤委員、中村(文)委員、池田委員、高橋委員、大矢委員、横山委員、加納委員、梅原委員、田巻委員、 事務局:みどり環境部長 萱野、みどり公園課長 渡邊、みどり公園係長 安達、みどり公園係主任 高島 委託事業者:ランドブレイン(株) 宮脇、村瀬
議 題	1 平成31年度第1回緑化審議会会議録(案)について 2 小委員会の進め方について 3 その他
会議資料の名称	資料1 平成31年度第1回緑化審議会会議録(案) 資料2 平成31年度第1回小委員会会議録(案) 資料3 高橋家屋敷林浸透実験の計画 資料4 植生調査の内容
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><u>開会</u> (会長) 第2回西東京市緑化審議会を開催します。 ～事務局より資料の説明～</p> <p><u>報告</u> ～事務局より調査支援委託について経緯等を報告～ ～委託事業者より提案事項を説明～</p> <p>(会長) コンサルタントには、調査に重点を置いて各種サポートを行ってほしい。今年度は、調査をとおして下保谷四丁目特別緑地保全地区の価値を明らかにし、評価できるようにすることが大切だと考えている。</p> <p>(委員) 調査についての支援のイメージを具体的に教えていただきたい。また、未来のイメージとし</p>	

て、地域の位置づけやパートナーも含めた調査をどうするかについても支援いただくと考えてよいか。

(会長)

昨年、学生から建築についての利活用を提案させていただいたが、下保谷四丁目特別緑地保全地区全体の未来のイメージと周辺施設等についてまとめていくことが必要ということか。

(委員)

そのとおり。また、下保谷四丁目特別緑地保全地区に携わる人のイメージも必要と考えている。

(会長)

人が携わるという点について、他の事例や取り組みを加えていただけるとよい。また、委員からも情報を提供いただけるとありがたい。

(委託事業者)

具体的な支援については、個別に打ち合わせを行い、内容を精査したい。また、人材育成の面では、人の連携についても考慮し、進めていきたい。

(委員)

市民の視点からすると何かしらの提案や情報発信が必要な段階(時期)であると考えられるため、他の部署等と連携した活用を行うとともに、市民ニーズの収集や収集した情報の発信を行うべき。

(会長)

活用は、様々な形で行われていくべき。事務局、社会教育課、産業振興課と連携し、イベント等で要望、期待等を収集することを検討いただけないか。今後の方向性を判断する材料となっていくはずである。

1 平成31年度第1回緑化審議会会議録(案)について

～事務局にて資料1を説明～

(会長)

事務局から説明がありましたが、会議録についてご意見等ありますか。

ご意見等あれば会議終了までにいただき、無ければ承認としてよろしいか。

(委員)

異議なし。

2 小委員会の進め方について

～小委員会委員と事務局にて資料2～4等を説明～

～雨水浸透調査について委員から説明～

(委員)

雨水の浸透実験については、6月に機材を設置し、開始している。11月くらいまで継続する予定。機会があれば、小学生向けの簡易版実験は、実施可能と考えている。

温度・湿度の計測については、数値をスマートフォンのアプリ(無線温湿度)で確認できる、温湿度センサーを敷地内、敷地外、農地等に設置し、比較できるとよいと考えている。常時記録を取っているのでグラフ化することも可能で、4ヶ月程度設置できる。

(会長)

温度、湿度のデータはまとめとして掲載してもよいのではないか。

(委員)

その他として高橋家屋敷林保存会の方々の活動量の調査を考えているが、ご協力をいただけるか。

(委員)

承知した。

～植生について委員から説明～

(委員)

まずは、基本となるデータとして、外来植物、雑草、実生木、つる性植物について図鑑の作成、樹木調書の作成、地域連携のための周辺の屋敷林調査、危険対策マニュアルの作成が必要になると考えている。

原稿を作成するので支援委託の中でまとめていただきたい。

(会長)

市民参加ではなく、専門家が行うのか。

(委員)

初め(今年度)は、イベントではなく、専門家でデータ化する。

敷地内について写真撮影(葉、花)を基本に進めるが、今後、更新(追加)していかないといけない部分は出てくる。

(会長)

危険対策マニュアルは、活動するうえで必須になるので、早くあった方がよい。

(委員)

例えば、女王蜂は越冬するので、5～6月でトラップを仕掛けるなど、時期的な対策も必要。

(会長)

ボランティアの方に協力いただく部分はあるか。

(委員)

樹木調査については、協力いただきたい。

(会長)

実際にボランティアとして活動している方々が作成するとその作成方法も含め、実証実験として意味が出てくる。

(委員)

人材はいるので、高橋家屋敷林保存会として協力できると考える。

(会長)

周辺屋敷林調査は、植生に限らず(建物、人等についても)行いたい。

(委員)

屋敷林の会という団体が存在し、周辺の調査も行っている。各屋敷林を面として考えて実施すべき。

(会長)

事務局にて企画を検討していただきたい。

～建物について委員から説明～

(会長)

母屋は、昭和 48 年に建てられたもので新しいが、武蔵野の屋敷林の母屋として考えると、間取りの構成等に武蔵野(下保谷)の民家としての価値や特徴を見いだせるのではないかと考えている。今年度のテーマにしていきたい。

事務局と委託事業者には、活用するにあたり、建物をリノベーションする際の法規的な縛りを整理してほしい。

(委員)

屋敷構成の中の母屋と付属屋の関係、そこでの暮らし方を民族学的な面から補足できると屋敷林と建物をつないでいくことができるのではないか。既往の研究も参考にしながらみていくとよい。

法規的な面については〇×表などで整理するとわかりやすい。

建築計画(工程表)と今どの段階にいるのかわかるようにできるとよい。

(会長)

以前、簡単に建築基準法のチェックをまとめたものを送っているので、共有していただきたい。改修の内容と法規的な制限については整理させていると活用の計画が立てやすい。

～歴史・文化について委員から説明～

※追加資料について説明

(委員)

社会教育課が実施したイベントや調査、また市民団体とともに実施したイベントや調査をつなげていけるとよい。委託事業者には、下保谷四丁目特別緑地保全地区に該当する部分をまとめていただきたい。また、足りないところがあれば、追加調査についても調整させていただきたい。

社会教育課の事業(イベント)でアンケートを取っていただくことは可能である。

下保谷四丁目特別緑地保全地区に特化したリーフレットをつくれるとよい。

～組織・人材育成について委員から説明～

(委員)

仕組みをどうつくるかについては、「知る、学ぶ(考える)、行動する」の3段階が必要となる。

「知る」については、イベントやシンポジウムを開催することが有効である。

「学ぶ(考える)」については、屋敷林を育てていくためのテキスト用いて講演会、講座を行い、技術、運営、合意形成の手法を学ぶことが重要である。方針に賛同してくれる人が集まることが活動を継続するポイントになる。

また、保全活用の基本方針から考えると、市民がわかるような保全のためのガイドライン、活用のためのガイドラインも必要ではないか。

「行動する」については、既存の活動と新しい活動を融合させるための支援をしていかなければ

ればならない。

以上の3つの段階を支えるための仕組みを明確にして、人材育成のシラバスについて内容を整理できるとよい。それに伴い、組織づくり、運営方法、官民連携方法も検討していかなければならないので、小委員会で明確化や枠組みづくりができるとよい。

(会長)

今年度は以上の5つの事柄について取り組み、年度末に市民に向けて報告の場を設けたい。

活用については、先行して審議会以外での活用を進めてもらい、次年度以降に小委員会での調査等に少しずつ市民が参加し、同時に記録も取れていけるとよい。

情報の発信方法については、重要になるので、今年度は試行しながら、ツール等を検討しながら行っていきたい。

委員の方から、ご意見、ご質問等あれば伺いたい。

(委員)

雨水浸透調査の名称が他と比べて専門的なので、包括的な名称(気象等)にしてはどうか。

(会長)

土壌回復につなげるための最初のステップとして今の名称になっている。

(委員)

「環境調査」だと規模が大きすぎるので「あまみず」等検討する。

(会長)

市民に伝える際にわかりやすいものがよい。

(委員)

保全のかたちをどうするか。植生は放置すれば貧弱になるので、手を付けないといけない。その手段を明確にすべき。

(会長)

今後どのように残していくかを含めて近隣を見に行く必要があると考えている。最初に手を加えるのではなく、まず現状を把握することが第一歩になるのではないか。

(委員)

今の段階では、現状の基本的なデータを押さえることが大切である。

(委員)

屋敷林の構成については、基本的なかたちがあり、下保谷四丁目特別緑地保全地区の場合は、冬の北風、春の西風を防ぐ構成となっている。

(会長)

以前、柳窪(東久留米市)の屋敷林を見学したが、地被類等に差はあったが、北側、西側に高木があり樹木の配置(構成)は同様だった。

(委員)

屋敷林の防風の観点から、風の変化は調査できないか。デジタルで表現できると子どもはわかりやすい。

(委員)

確認する。

(委員)

近くの農地との比較として、土ぼこりも調査できるとよい。

(委員)

下保谷四丁目特別緑地保全地区の北西の竹は土ぼこりの対策にもなっている。

(委員)

「雨水・微気候調査」としてはどうかと思うが、引き続き考えたい。

3 その他

(委員)

前回会議録について修正があるので、別途、修正部分をメールする。

※次回は、1月10日(木)の14時からエコプラザ西東京にて開催する。(詳細は別途通知する。)

4 閉会

(会長)

以上で、第2回西東京市緑化審議会を閉会します。